

サービスアパートメントは
広がっている

●都内のサービス
アパートメント

積水ハウス

フレイザースイート
(赤坂、2020年春開業)

三菱地所

アスコット・ザ・レジデンス
(大手町、17年開業)

赤坂御用地

国道
246号

六本木
ヒルズ

首都高速道路

三井不動産

オークウッドプレミア
東京ミッドタウン
(六本木、開業済み)

森ビル

六本木ヒルズレジデンス
(六本木、開業済み)

家具や家電製品は備え付け、毎日の清掃やリネン交換にも対応するサービスアパートメントは三井不動産をはじめ大手不動産も手掛けている。海外に比べ普及が遅れているが、訪日客の増加などをを受け、今後も拠点が広がっていくと見られる。

積水ハウスの建設地は港区赤坂5丁目の再開発エリア。敷地面積は2245平方メートルで、17年夏に着工する。施設内にはレ

積水ハウス

長期滞在型ホテル参入

まず東京・赤坂 外国人富裕層狙う

積水ハウスは数週間から数カ月滞在できる中長期型滞在ホテル「サービスアパートメント」の開発に参入する。シンガポールの不動産大手と組み、2020年春に東京・赤坂に地上22階建ての高級物件を開業する。総事業費は250億円程度とみられ、東京五輪で来日する外国人富裕層を狙う。

ストランや会議施設も備える。部屋数は223室を計画しており、ホテル建設についての容積率の緩和が進めば増える可能性がある。24時間使えるフィットネスジムのほか、ビジネスサービスやペーシッターサービス

も提供する予定だ。運営はシンガポールの不動産大手、フレイザーズグループが担う。同社が世界32カ所で展開する滞在型ホテルの最高級ブランド「フレイザーススイート」の日本初物件となる。積水ハウスはフレイザーズとシンガポールやオーストラリアで開発事業で連携しており、フレイザーズの高い知名度を集客に生かす。

積水ハウスは超高級ホテルのセントレジスホテル大阪、リッツカールトン京都を所有している。20年の東京五輪では、世界中の多くの最重要人物（VIP）の来日が見込まれ、富裕層が手軽に長期滞在できる宿泊施設への需要は高まるもよう。通常のホテルや滞在型を訪日外国人が多く足を運ぶ関西などにも増やしていきたいと考えた。

国内では少なかったサービスアパートメントも徐々に整備が進んでいる。三菱地所は17年、世界大手のアスコット（シンガポール）と組み、東

京都内で最高級滞在型ホテルブランド「アスコット・ザ・レジデンス」を開業する。オフィス街の超高層ビルの上層階に設置し、金融業界などのビジネス利

用を想定する。森ビルは六本木ヒルズ（東京・港）など4カ所、計560戸を運営。三井不動産も東京ミッドタウン（同）など計2カ所で事業展開している。